

動に精を出し、地域のイベントにこまめに顔を出し、冠婚葬祭も遺漏なく、行政との顔つなぎをしてくれる政治家が跋扈した結果が現在の財政数字です。これは規模の大小はあれど、国も地方も同じ縮図です。

今、何が必要か明らかです。もう一度グラフをご覧ください。実は悪名高い臨時財政対策債を入れても地方財政の悪化は止まっています。

これは多くの自治体の長（知事、市長、町長、村長）と議会議員が状況を正確に見抜き、「金」の代わりに「知恵」を出し、対応してきた結果とも言えます。時には又けた首長や議員がマスコミの餌食になります。ハッキリ申し上げますが、国より自治体のほうがまだマシです。

これからの少子高齢化・人口減少をさらに迎える日本や枚方を思うのであれば有権者の方々にも、耳障りのいいことばかりを言う政治家ではなく、行財政改革をしっかりと断行していく政治家に託す勇氣が必要との思いを深めています。

つづいふ

公務多忙でご報告が遅れたことをお詫びします。

さて、議員任期もあと数ヶ月となりました。今号では総務省の課長の方が作成された図表を参考に「消滅する自治体」にはならないための方向性をお示しいたしました。

枚方市は昨年4月に中核市へ、枚方市議会は3年の検討期間を経て同月議会基本条例を施行し、今年の5月からは通年議会へ進む予定です。また、この4月には議員定数を2名減員し、類似都市では最も少ない議員数（32名）で選挙が行われます。枚方市の有権者数が約32万人ですので、有権者1万人に議員1名の勘定です。

早いもので私を初めて議会に押し出していただいて16年になりました。当時、行政も議会も何が行われているのかサッパリわかりませんでした。ですから私は情報公開、情報共有を一番に掲げました。

それから電子媒体が充実し、市も議会も議員もホームページやSNSなどで簡単なことはわかるようになりました。有権者にとっては過去に比べて恵まれた状況となったはずですが、現実

はマスコミ報道による知識が中心で、地元の「生（なま）」の情報共有化に課題が残っています。

財政状況もなんとか「低位安定」というところですが、「少子高齢化」の流れの中、「消滅する自治体」にならないよう「嫌われても改革！」で頑張ります。

次号は、任期最終号となります。

身体は動きませんが
ガンバリマス！



くずは駅前報告～ライブ通信
(2014年12月現在653回目のご報告)
くずは駅周辺4ヶ所で朝6:30～8:30
(土日祝雨天そして用事のある日は休みです)

- 議員のホームページや議員報告（ペーパー版）は政務調査の目的により運用しております。市政に関するご意見、ご提言、ご感想をお寄せ下さい。尚、お名前やご住所は他の目的を持って使用することはありません。